井川小学校　学校報

みどりの風

平成29年2月2日
第26号

学校教育目標

豊かな心をもち、共に考え、自ら高めていく子ども

「勉強が楽しい」「学校が楽しい」子どもが増えました

３か月ごとにとった子どもたちへの学習生活アンケートの結果が次のようにまとまりました。学習では５月に比べて「楽しい・わかる」など全般に上昇し、生活でも「楽しい・よさを伝えている・避難訓練でよく考えた」などがよくできたと答えました。

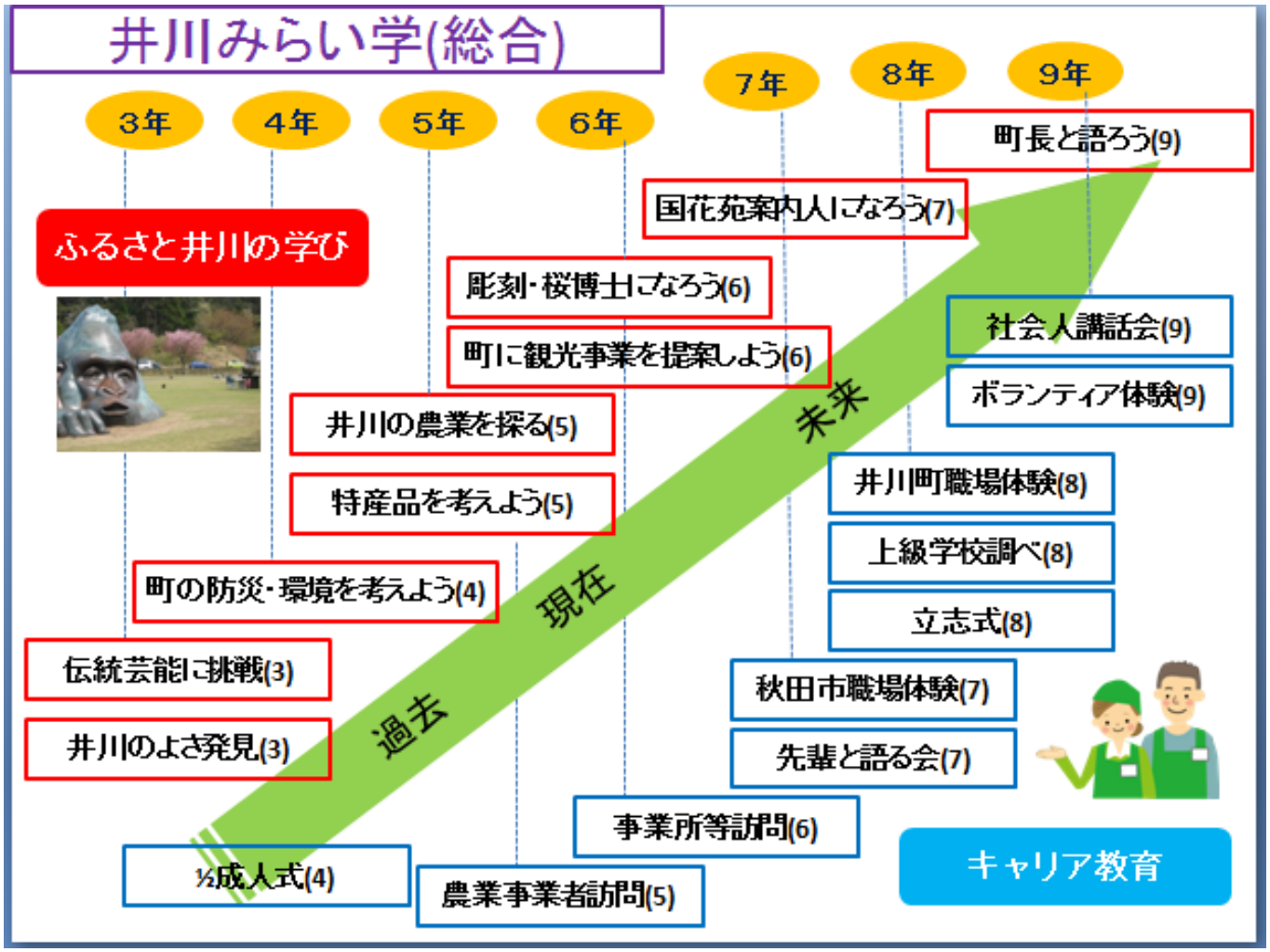
一方で、学習では上昇はしているものの「わからないときわからないと言える」や「わけや理由を発表する」、生活では、「いじめや冷やかしのない学級・学校だ」などで、「そう思う」と自信を持って答えられる子が十分にはいませんでした。

来年度はこうした課題が解決できるよう、子どもたちと一緒に努力してまいります。

		質問内容 （4−そう思う　3−ややそう思う　2−あまり思わない　1−そう思わない）	５月調査	９月調査	１月調査
学習	1	勉強が楽しい	3.3	3.4	3.5
	2	勉強がよくわかる	3.2	3.3	3.4
	3	勉強がわからない時、わからないと言える	2.9	3.0	3.1
	4	進んで自分の考えを発表している	2.9	3.0	3.1
	5	わけや理由を発表している	2.9	3.1	3.1
	6	話す人を見て聞いている	3.6	3.6	3.6
	7	グループや全体で話合いができる	3.4	3.5	3.4
生活	1	学校は楽しい	3.6	3.6	3.7
	2	思いやる言葉遣いをしている	3.3	3.3	3.3
	3	係や委員会によく取り組んでいる	3.5	3.4	3.5
	4	帰りの会で友達のよさを伝え合っている	2.7	3.0	3.2
	5	学級会で学級のことを話し合っている	3.1	3.2	3.2
	6	縦割り活動は楽しい	3.7	3.6	3.6
	7	いじめや冷やかし、からかいのない学級や学校だ	3.1	3.1	3.1
	8	避難訓練でよく考えて行動できた	3.6	3.7	3.8

井川義務教育学校ってどんな学校？（第３回）

３回目は「井川みらい学」についてです。キャリア教育とふるさと教育は新しい学校での大きな柱です。総合的な学習の時間を中心に、９年間を通して「大きな志を持てる子ども」「ふるさとを大切にする子ども」を育てるために検討しているのがこのみらい学です。なお、お知りになりたいことがありましたら、本校教頭までご連絡ください。



Q　なぜ、このような取り組みをするのですか。必要性はなんですか。

A　本町の子どもたちの課題として、「将来に向けた夢を持つこと」や「社会に関心を持つこと」が少し弱いことがあげられます。井川町を中心に体験活動をたくさんさせるなかでふるさとの大切さを実感させ、井川町から体験活動を広げていってさらに一人一人に夢や希望をしっかりもたせたいと考え、この取り組みを行うことにしました。

Q　学習したことを知りたいのですが、発表する機会はありますか。

A　これまで総合的な学習の時間で学んだことは学習発表会などでお伝えしてきたところですが、せっかくこのような提案型の学習を計画していることから、例えば２月のＰＴＡのおりに全校で発表会を行うなど考えてみたいと思います。

Q　１，２年生が表にはありませんが、ふるさと教育やキャリア教育に関係がないのですか。

A　１年生から９年生まで継続して行うのが、このキャリア教育・ふるさと教育です。１年生では学校内での先輩たちとのふれあいや交流を中心に、２年生は一歩踏み出して学校周辺の見学や探検などを行って、３年生につなげていく予定です。